

努力を継続する才能

透析領域の大きなイベントである日本透析医学会は、2019年6月に開催され、新生会でも今回、9演題の発表がありました。研究というのは継続し、次の年の発表に準備することが肝要です。何をやるにしても、継続する努力が必要となります。イチロー選手は天賦の才能を持つ天才ではなく、実は「努力が継続する天才」といわれています。努力を継続することができる能力、大事です。

院長 小川 洋史



写真：紅葉するナナカマド(北アルプス 澗沢) (撮影：小川 洋史)

🍎🍌🍩🍰 🍌🍰🍩🍎 高齢者はなぜ転倒しやすいのか?

新生会第一病院 リハビリテーション科 理学療法士 阪本美優

まずはご自身の転倒危険度のチェックしてみましょう。一つでも当てはまる方は要注意です。

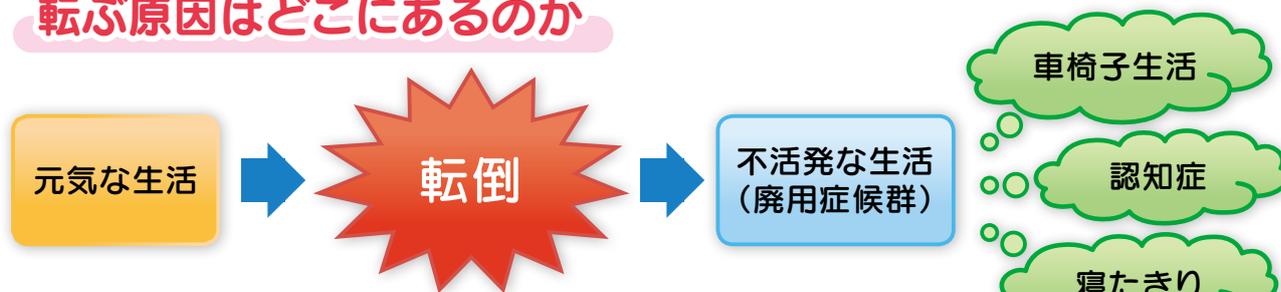
- この1年間で転倒をした
- 立ったままズボンや靴下が履けなくなった
- つまづくことがよくある
- 横断歩道を青信号の間に余裕をもって渡りることができない
- 階段は手すりがないと不安、または上れない

高齢者は加齢とともに転びやすくなり、大ケガに繋がる場合があります。中でも転倒が原因で起こりやすい骨折は、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位部(手首)、大腿骨近位部(太ももの付け根)、椎体(背骨)が挙げられ、痛みによりベッドで安静にしている状態が続くことで車椅子が必要になったり寝たきりになってしまったりすることも少なくありません。



#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

転ぶ原因はどこにあるのか



転倒の原因は大きく3つに分類されます

内的要因＝高齢者自身が抱える問題

外的要因＝環境の問題

突発的要因＝備えることが難しい、または対策がしにくい問題

今回は内的要因に関する“加齢による変化”を いくつか紹介していきます。

◎下肢の筋力低下

高齢者は筋力低下により、歩行時の背屈（つま先を上げる動作）が困難となったり、脚が上がらなくなったりすることで足歩行を呈しつまずきやすくなります。

◎感覚の低下

・表在感覚

表在感覚とは皮膚にもものが触れる感覚をいいます。バランスをとるには足の裏の表在感覚が重要ですが、感覚が低下することでどの様に足と床が接触しているかの情報を得ることができなくなりバランスを崩しやすくなります。

・平衡感覚

年を取ると、平衡感覚をつかさどる器官が衰えてしまうことでバランスを崩しやすくなり、歩くリズムが乱れると転倒に繋がる場合があります。そのため歩くスピードが遅くなったり、歩幅が狭くなったりする傾向が多くみられます。

◎反射・反応能力の低下

転倒しそうなとき、傾いた体を立て直すために“ステップ反応”という咄嗟に出る足の反応が転倒回避に重要な役割を果たしますが、高齢になると反応が鈍くなるため転倒のリスクが高くなります。

上記の他にも内的要因として、円背等による姿勢不良、視力・聴力の低下、集中力の低下、睡眠薬や副作用のある薬（眠気、めまい、ふらつき、脱力等）の内服など様々あり、ひとつの要因で転倒する場合もあれば、いくつかの要因が組み合わさって起きる場合もあります。

また高齢者の転倒発生率は年々増加傾向で、自宅内での転倒が多く、カーペットのめくれやコードの引っ掛かり、わずかな段差でのつまずきや布団の上などの柔らかく不安定な足場でのふらつき等、外的要因に関する転倒事故例が多くみられます。それを防ぐためにも、転ばない体づくり・環境づくりを心掛ける事が大切です。



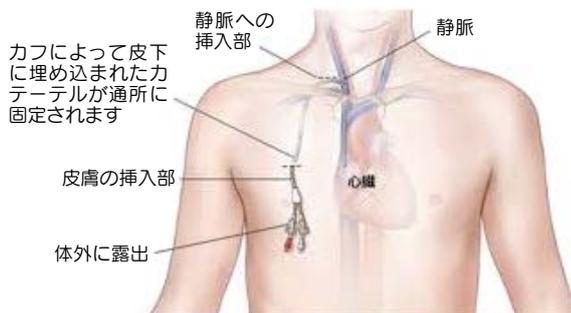
バスキュラーアクセス
の選択肢

長期留置型カテーテル

文責：在宅透析教育センター 透析看護認定看護師 前田あすか

血液透析を行うためにはバスキュラーアクセスが必要であり、その一つに「長期留置型カテーテル」があります。長期留置型カテーテルが増えているのは世界的な流れですが、当院および当グループでも増加しています。この機会に、改めて長期留置型カテーテルについてご紹介します。

長期留置型カテーテルとは？



長期留置型カテーテルとは、長期的な使用を目的としたカフ付きの血液透析用留置カテーテルです。首などの太い静脈にカテーテルを入れて、血液を脱血・送血して透析を行います。局所麻酔を使用し、透視しながらカテーテルを留置します。カテーテルは一部が体外に露出した状態になります。

特徴は？

メリット

心臓への負荷が少ない透析を行うことができます。また、穿刺の必要がないため、透析毎に痛みを伴いません。挿入後すぐに使用することができます。

デメリット

カテーテルを長期間入れておくため、内シャントよりも感染を起こす可能性が高いといえます。

カテーテルの一部が体外に露出しているため注意する必要があります。



管理方法や生活上の留意点は？

生活動作について

カテーテルが体外に露出しているため、動作の制限があります。引っかけて抜けてしまうことのないように、ガーゼやテープで固定します。または体外に出ているカテーテルを袋などに入れて保護します。

清潔管理について

カテーテルからの感染を予防するため、透析室で定期的な出口部の消毒を行います。入浴は全身シャワー浴、下半身浴です。シャワーで長期留置型カテーテルの出口部を洗い流し、清潔にすることが大事です。

医師や看護師と相談しながら、自分に合ったバスキュラーアクセスを選びましょう。

もっと詳しくお話を聞きたい方、相談したいことがある方は、お気軽にスタッフまでお声かけ下さい。



医師のご紹介 新任の医師を紹介します。よろしくお願い致します。



シャント外科 火曜日
中井 洋佑 先生

火曜日のシャント外来を担当します。



一般内科
不破 大祐 先生

よろしくお願い致します。

新生会第一病院の理念と基本方針

- (理念) 新生会第一病院は、地域が必要としている医療と、腎臓病・透析療法の専門的医療を提供し、人々から信頼される「アットホームな病院」をめざします。
- (基本方針) 1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、生命と人生を大切にし、患者さまに満足していただける医療の実践をめざします。
2. 私たちは、自らの成長をとおして、医療の質の向上をめざします。
3. 私たちは、保健、医療、介護、福祉機関相互の連携をはかり、地域に開かれた病院づくりをめざします。

患者さまの権利

1. 個人の尊厳が守られる権利
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重します。
2. 医療を受ける権利
良質で適切な医療を公平に受け取ることができる権利を尊重します。
3. 知る権利・学習する権利
病名や病状などの医療情報について十分な説明を受ける権利、また、病気や疾病予防、健康について学習する権利を尊重します。
4. 自己決定の権利
緊急の場合を除き、治療方法などについて、自分自身の意思で選択、又は、拒否することができる権利を尊重します。
5. プライバシー保護の権利
医療上の個人情報には十分に配慮される権利を尊重します。

患者さまの責務

1. 情報を提供する責務
自分の健康や病気について、医療者にできるだけ正確に情報を提供する責務があります。
2. 質問する責務
提示された医療行為の説明を、自分が理解できるまで質問する責務があります。
3. 行動の責務
すべての患者さまが適切な医療を受けられるために、病院の定めた規則を守る責務があります。

新生会第一病院 外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	△	○	○	○
腎臓内科		○	○	△	△	○	○
整形外科・リウマチ科		○	○	△	○	△	○
糖尿病・内分泌内科	午後	○	○	△	○	○	△
シャント外科	予約制	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	※	○	○	△	○	○	○

診療時間：

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) /
午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病・内分泌内科の日に糖尿病栄養外来、
糖尿病看護外来を実施 ◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科：透析ベッド 100 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒468-0031 名古屋市天白区高宮町1302

電話 (052) 808-2100 FAX (052) 808-3232

ホームページ <http://www.hospny.or.jp/shinseikai/>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診や急変した場合は予約がなくても受付けますので来院ください。また、予約の変更がしたい場合等は、電話にてお問い合わせください。)

